



◀ そのほかの取材記事はこちらから ▶

市内のイベント情報ははこちらから ▶

山田恵美 赤こんりポーター

馬場利男 赤こんりポーター



親子で探る体験ツアー  
未来にのこしたい宝ものとかいものひみつ

消費者教育親子体験型プログラム「親子で探る体験ツアー 未来にのこしたい宝ものとかいものひみつ」が2月15日に開催され、市内の親子11組25人が参加しました。子どもたちは「SDGs こども特派員」として「ゴール12：つくる責任・つかう責任」に注目して、買い物という消費行動を通じて自分たちにできることのヒントを、旧市街地にあるお店を巡り取材することで探りました。つくり手の思いやこだわりについて話を聞き、実際にお店や工場を見たり、触ったり、食べたりと五感で感じる貴重な機会となりました。1日を通して私たちの暮らしと買い物はつながっていること、近江八幡にあるたくさんの宝ものに気づいたのでは、と思います。



あめ  
べっこう飴を作ろう！

お菓子づくりをきっかけに科学について学ぶ教室が、2月15日に八幡東子どもセンターで、金田・馬淵・武佐小学校児童12人を対象に行われました。べっこう飴作りでは、カップにスティックシュガーと水を入れ、加熱し色が変わってきたら、つまようじを入れて固まるまで待ちます。固まった後、カップからはがしますが、きれいにはがせるものとうまくはがせないものがあり、児童たちは思い思いにでき上がりを楽しんでいました。アルミ箔の穴から漏れるハブニングもあり、残念がる様子がかわいらしかったです。勉強会も行われ、児童たちは、サトウキビから砂糖ができる過程と砂糖の種類を学びました。

3月15日・16日



雨の中でもなんのその  
左義長祭りが盛大に開催されました

湖国に春の訪れを告げる左義長まつりが、宮内町の日牟禮八幡宮一帯で営まれました。全13基の左義長が、今年の干支の「巳」にちなみ華やかに飾りつけられ、旧市街を練り歩きました。左義長のダシ飾りの出来栄を競うダシコンクールは、第十一区が優勝。2日目には、左義長をぶつけ合う迫力の「けんか」もあり、夜には左義長に火を放ち奉納し、燃え盛る火柱が同宮の馬場を赤く染めました。両日ともあいにくの雨でしたが、旧市街の各所で「まっせまっせ」の音が響き渡り、にぎわいを見せていました。

3月2日



白熱した攻防を多数展開！  
全日本綱引選手権大会が開催されました

津田町にある運動公園体育館で、2025全日本綱引選手権大会が行われ、男子44組、女子22組が熱戦を繰り広げました。(公社)日本綱引連盟が主催するこの大会は、昭和56年から行われており、42回目の開催となります。試合は各チームが持ち味を発揮し、白熱した攻防を展開。「PULL(プル)」の合図で両者が引き合い、拮抗した力のバランスを、監督がタイミングよく掛け声をかけ、勝負を仕掛けました。熱戦を見守る観客は、各チームの息の合った動きに大いに盛り上がっていました。綱引競技は、「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」でも8月23日(土)・24日(日)にあづちマリエートで開催されます。

東知樹 赤こんりポーター

松村美沙枝 赤こんりポーター



緑包まれる不思議な世界

まだ寒さが落ち着かない3月3日、西の湖付近に訪れたところ、とても雰囲気の良い圓山神社があったので、撮影してきました。境内に入るまでの階段は進めば進むほど、コケや木々の緑に包まれていき、頂上に行くまでの道で写真を撮る事ができ、楽しむことができました。さらに進むと、境内に近づくにつれて神秘的な雰囲気になっていき、とても心落ち着く空間になっていました。ここでは春になると桜がきれいに咲くので、付近の水郷巡りと一緒に訪れてみてはいかがでしょうか。



託児×温泉施設で  
もっと子育てが楽しい近江八幡へ！

2月27日、長命寺温泉天葉の湯で「産後カフェ 抱っこのお話&ママのごほうび時間」が開催されました。和心助産院・松本奈津美さんと天葉の湯・奥井美香さんの「子育て中のお母さんたちに、もっと自身を労わって欲しい」という思いで生まれたこのイベント。助産師中心の託児のもと、ママはゆったり湯船でリフレッシュ。託児中の赤ちゃんたちの周りには「かわいいね!」「もうお座りできるのね」と、他のお客さんとの交流で優しい時間が流れます。天葉の湯ではベビーパスの設置も始まり、どんどん子育て世代にうれしいコミュニティが広がっています。

3月4日



世界各地の食文化に触れる「料理教室」  
～イタリア編～

市国際協会の主催で、本市の姉妹都市・マントヴァ(イタリア)の食文化に触れる「料理教室」が開催されました。講師は市内のイタリア料理店 Barbeta・岡村嘉洋シェフで、「タラと菜の花のスパゲッティ」・「鶏モモ肉と小カブのグラタン」・「ブルーベリーとチーズのデザート」の3品のレシピを、時短ポイントなどを交えて学びました。その後グループごとに、楽しく話しながらポイントを押さえて調理をしていました。岡村さんは「旬な食材を使うと、イタリアと日本の両方を感じる料理ができます。ぜひ、家で作ってみてほしい」と話していました。

3月8日



安土城郭資料館、来館者70万人達成！  
記念イベントと新トリックアート披露

JR安土駅に隣接している安土城郭資料館が、累計来館者数70万人を達成。これを記念し、館内では特別イベントが開催され、来場者は歴史の魅力に触れながら楽しいひとときを過ごしました。70万人目の来館者となったのは香港から訪れた Alvin Chiu さん。「このようなイベントがあると知らず、驚きました。記念すべき来館者となりうれしいです」と笑顔で話していました。また、今回のイベントでは、新たに設置されたトリックアートが初披露。安土城の城壁をよじ登っているように見えるデザインや、城の天主閣からのぞき込むような構図が特徴です。